

令和3年度山口県柔道体重別選手権大会実施要項

- 1 日 時 令和3年7月4日(日) 9時 開会式
- 2 会 場 萩カルネパーク萩武道館  
〒758-0061 山口県萩市椿73-7  
TEL0838-24-2411
- 3 日 程 ○7月4日(日) 役員選手受付 8時30分～ 9時00分  
審判監督会議 9時00分～ 9時20分  
開会式※ 9時30分  
試合開始 開会式終了後  
閉会式※  
※ 式は散開したまま実施。表彰状は後日送付。

●計量(公式計量と非公式計量)：7月3日(土) 16時00分～17時00分  
場所(調整中) 山口県維新百年記念公園 維新大晃アリーナ  
(山口市維新公園4-1-1)

男子 図書室

女子 会議室1・2

※1 対象は無差別級以外の選手(無差別級の選手は計量しない。)

※2 上記時刻による計量ができない場合は、申込時に理由を記載して申請のこと。

※3 添付の「新型コロナウイルス感染症対策に係る留意事項について」の健康状態申告書提出以外のことを遵守すること。

- 4 主 催 一般社団法人山口県柔道協会
- 5 主 管 萩柔道協会
- 6 参加資格 (1) 2021年度(一社)山口県柔道協会を通じた全日本柔道連盟登録者であること。  
(ただし、ふるさと制度を活用し参加することも可とするが、参加希望者については、在住地等に応じた参加条件を、当協会が個別具体的に設定し、通知するので条件適合したことを証明すること。(参加条件例：設定期日のPCR検査結果提出、県内での隔離期間設定とその証明書提出等) )  
(2) 男子・女子ともに高校生以下の選手は出場できない。  
ただし、女子の部の57kg以下と無差別級については、強化委員会が推薦する選手は高校生以下であっても出場することができる。  
(3) 添付の「新型コロナウイルス感染症対策に係る留意事項について」に同意するとともに、これを遵守すること。
- 7 体重区分 (1) 男子(4階級)  
① 60kg級 ② 73kg級 ③ 90kg級 ④ 無差別級  
(2) 女子(4階級)  
① 52kg級 ② 57kg級 ③ 63kg級 ④ 無差別級

- 8 試合方法 (1) 各階級トーナメント方法とするが参加人数によりリーグ戦になることもある。  
(2) 国際柔道連盟試合審判規定及び大会申し合わせにより行い、試合時間は、4分間とする。(ゴールデンスコアを適用)
- 9 表彰 各階級1位、2位、3位を表彰する。
- 10 参加料 一人 2,000円  
(1) 参加料は、無差別級以外の選手は前日の公式計量の際に納入すること。無差別級の選手は、大会当日、受付時に納入すること。  
(2) 申し込み後欠場した場合も参加料を納入すること。
- 11 参加申込 別紙申込書により下記まで申し込むこと。(電子メールで申し込んでください。)  
(1) 申込期限 令和3年6月6日(日)  
(2) 申込先 〒753-0871 山口市朝田581-2  
一般社団法人山口県柔道協会事務局宛  
TEL・FAX 083-924-9510  
E-mail [yjk@c-able.ne.jp](mailto:yjk@c-able.ne.jp)  
(3) 6月11日(金)までに受付した旨の電子メールで返信するので、当該メールが届かない場合は、6月17日(木)までに申込先にその旨連絡すること。

## 12 国体選手選考について

国体選手の選考については、例年、山口県柔道体重別選手権大会の結果を参考に実施してきたところであるが、今年度は、別途、選手選考会議を開催し選考する。

- 13 その他 (1) 組合せは強化委員会で実施する。  
(2) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を使用すること。  
(3) 大会出場中の映像・写真・記事・氏名・記録等のテレビ・ビデオ・新聞・雑誌・インターネット・広告等への掲載を了解すること。  
(4) 大会中の事故等については、各団体にて加入の保険の範囲内での適用になります。保障内容が不足と思われる場合は、別途保険に必ず加入して参加すること。  
(5) 選手、指導者は下記の事項を遵守すること。  
(脳震盪について)  
① 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。  
② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精密検査を受けること)  
③ 練習開始に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④ 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面で事故報告書を提出すること。

(皮膚真菌症（トングランス感染症）について)

皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任者において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会の出場ができない場合もある。